

石狩川常盤公園上下流空中写真

旭橋付近は、堤防の間隔が上下流に比べ狭くなってきているため、他に比べ安全度が低くなっている。

※旭橋(昭和32年現橋の完成)

- 1997年(平成9年) 旭川八景の一つに選定される
- 2002年(平成14年) 土木学会選奨土木遺産に認定
- 2004年(平成16年) 北海道遺産に認定



【平成23年9月2日からの出水】

平成23年9月2日から4日にかけて断続的に30ミリから40ミリの激しい雨が降り、200ミリを超える大雨となりました。この影響で旭橋下流の高水敷まで水位が上昇、リベライン旭川バークラスI 水没しました。

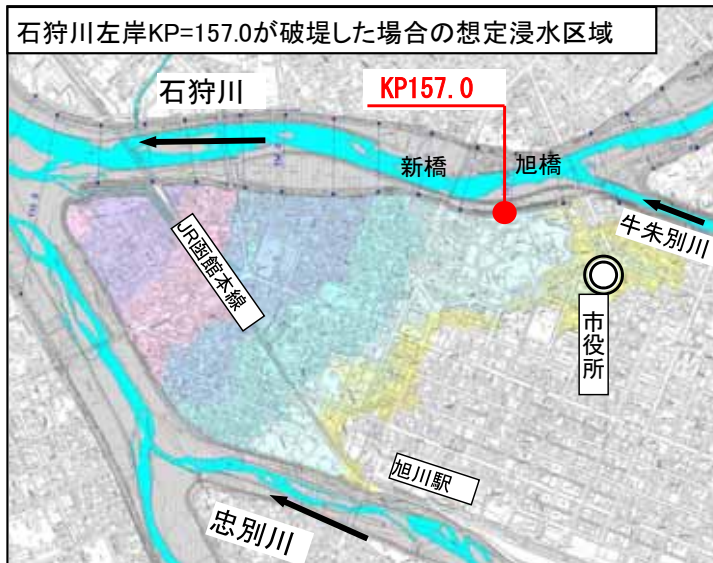


常磐築堤の整備について

◆当該箇所は、市外部で背後に人口・資産が集中していますが、暫定堤防区間であり、万一の破堤時には、浸水被害人口が1万人を超える甚大な被害が発生することが想定されるため、堤防を完成化させ治水安全度の向上を図る必要があります。



当区間は川幅が上下流に比べて狭い



想定浸水被害

浸水氾濫面積 (km ²)	2.4
浸水域内人口 (人)	約 11,300
浸水域内世帯数 (世帯)	約 5,640
床上浸水家屋数 (棟)	約 5,070
床下浸水家屋数 (棟)	約 730
浸水域内資産額 (百万円)	約 259,000
浸水域内被害額 (百万円)	約 385,000

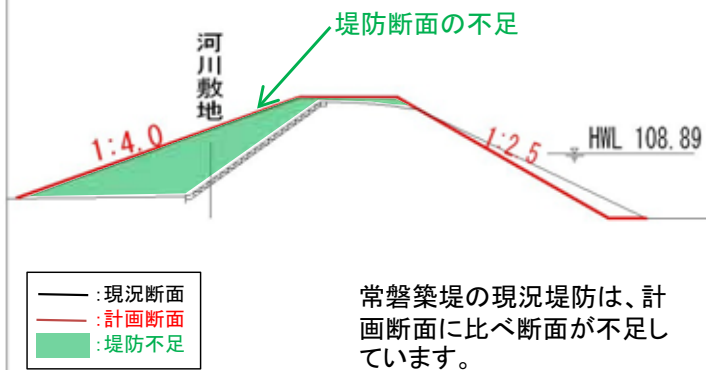
凡例 Legend	
● 堤防破堤地点	浸水時に想定される水深
■ 無堤部溢水地点	0.5m未満
□ 市町村界	0.5～1.0m未満
	1.0～2.0m未満
	2.0～3.0m未満
	3.0～4.0m未満
	4.0～5.0m未満
	5.0m以上

◆当該箇所の現況堤防は、計画断面に比べ断面が小さく洪水時の安全性が確保されていません。また、旭橋の影響により堤防と堤防の間が上下流に比べ狭くなっており、他に比べ安全度が低くなっています。さらに、当該箇所の堤防には、樹木や切株多く残されており、それらが堤防に悪影響を及ぼす恐れがあるため対策が必要です。

断面図

堤防整備イメージ

現況堤防の状況(イメージ)



◆強風に樹木があおられると、木の動揺により堤防が振動し緩む。倒木した場合は、堤防が損傷する。流木化した木は、堤防損傷・流下阻害を誘発する。

